



きりん組だより

2022 年度最終号

少しずつ暖かい日差しが園庭に差し込むようになってきました。きりん組での生活も終わりを迎えています。残りの一ヶ月「きりんぐみ、たのしかった！」という思えるような保育をします。

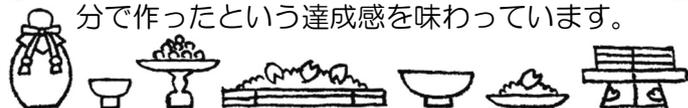
お当番活動

お当番さんが毎日水やりをしているおかげで、ついにアネモネに芽がでてきました♪雑草と芽の区別がまだつかない子が多いですが「これが芽なの」と教えると「やった！〇〇ちゃんの芽がでてきたね！」と喜んでいる姿が見られました。まだまだお花が咲くのは先ですが、年長になっても生長を見届けたいと思います。



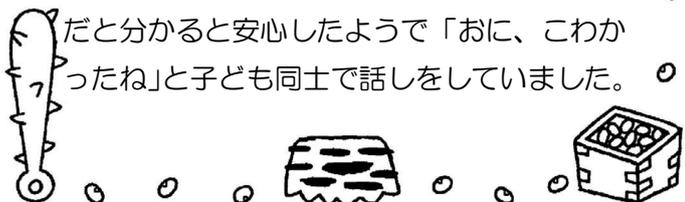
おひなさま

今回はハサミとのりを使って制作を行いました。制作前に玄関のひな飾りを見たことで、イメージができた様子でした。お内裏様とお雛様の衣装を作るのに「うまくできない・・・」とい子がいましたが、コツを掴むと丁寧に制作していました。少しずつ完成していく制作に、自分で作ったという達成感を味わっています。



節分

節分当日、園庭で豆まきをしました。四方八方からくる鬼に怖がって泣いている子もいましたが、豆に見立てたカラーボールを投げている子もいました。会終了後、鬼が保育士だと分かると安心したようで「おに、こわかったね」と子ども同士で話しをしていました。



初めての恵方巻作り

恵方巻作りを伝えると「なに？それ」という子どもたち。前日に折り紙で恵方巻を作ったことで、当日を迎えても焦ることなく、作り方の説明を聞くことができました。回数を重ねることでのりにのせるご飯の量も自分たちで調整し、上手く巻くことが出来ました。今年の方角は南南東だったので、子どもたちに方角を向いて目を閉じて食べることを伝えると、食べ終えるまで目を閉じて喋らずに食べている姿が可愛かったです。自分で巻くことの楽しさと美味しさから、のりとご飯がなくなる程、よく食べました。



来年度はぞう組になります！

「もうすぐぞうぐみさんになるの？」という声がちらほら聞かれるようになりました。にこにこマン活動を行うことが多々あり、うさぎ組やぞう組との交流も増えました。特にぞう組さんとは散歩に行ったり、今年は1月から朝の合同があり、より年上の子と過ごしたりすることが多くありました。コマの回し方、難しい折り紙の折り方などをお兄さんやお姉さんから教えてもらうことや、お外でもドロケイの仲間に入れてもらうことがあり、一緒に過ごすことの楽しさと、頼ったり甘えたりすることで満たされる気持ちなどが見られました。今度は自分たちが経験した思いを年下の子たちに与えられるといいなと思います。

先日、畑の雑草を抜きに行くと「ぞうぐみさんになったら、ここになにかうえるの？」という声が聞かれたので、さつまいもを植えることを伝えると「そっか！おみずあげなきゃ！」と張り切っていました。その楽しい気持ちや期待を胸に、頼もしいぞう組さんになりますように☆